

きんもくせい

乳がんを早期発見!

最新鋭のマンモグラフィ装置「トモシンセシス」



▲ 雄谷医師（上段左）、久世医師（上段右から2人目）、岡田看護師（左端）、撮影を担う診療放射線技師スタッフ

女性のがんで最も多い「乳がん」は、仕事や家事に忙しく過ごしている40～50代の発症率が高く、増加傾向にあります。

当院では、これまでも人間ドックや検診でマンモグラフィによる診断を行ってきましたが、このたび新たにトモシンセシスという技術を搭載したマンモグラフィ装置を導入しました。トモシンセシスは乳房を複数の方向から撮影でき、収集されたデータを再構成することで任意の深さの断面画像を生成する技術です。これによって、乳腺の重なりを分離できるため、従来と比べてより正確な診断が可能になりました。

今後とも乳がんの早期発見に努めるとともに、質の高い医療の提供に全力を尽くしてまいります。

P.3の「診療科から」に外科の記事を掲載しましたので、あわせてご覧ください。

〒436-8555 掛川市菖蒲ヶ池1番地の1 ☎0537-21-5555

ホームページ <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の院内報をホームページでご覧いただけます。

中東遠 検索

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



2年目に向けて

看護部通信

昨年の4月に看護師として働き始めてから1年が経ちました。

私が所属する4階東病棟は、小児科・耳鼻いんこう科・歯科口腔外科・皮膚科の混合病棟で、幅広い年齢層の患者さまが入院されています。様々な疾患の患者さまを受け持つなかで、経験豊富な先輩方に支えられながら、病気や看護ケアなど多くのことを学ぶことができました。入職した頃と比べると、できる技術が少しずつ増え、自分の成長を実感しています。また、患者さまから「ありがとう」の言葉をいただいたり、入院当初はぐったりしていた子が笑顔で退院していく姿を見ると、とても嬉しく看護師としてのやりがいを感じます。

研修を終えて、1年間つけてきた「初心者マーク」が外れると、達成感とともに自分も先輩になるのだという強い責任感が生まれました。2年目は、疾患についての学習を続けることでさらに知識を深め、より良い看護を提供できるようになりたいです。また、患者さまやご家族に寄り添い、思いを聴く時間を大切にしていきたいです。

4階東病棟 看護師 赤堀 佳波



チーム医療を支える

コメディカル 診療放射線技師



外傷初期診療の中で大いなる一役を担うために!!

外傷初期診療においてCT検査の需要は年々増え続け、外傷初期診療ガイドラインの中にも時間を意識した効率的な外傷全身CT評価法として取り入れられています。診療放射線技師にも救急に特化した資格が定められ、2名の救急撮影認定技師（ERT：Emergency Radiological Technologist）が在籍しています。

救急診療の現場では、治療に必要な最適な画像を速やかに提供するため迅速かつ的確な検査が求められます。さらに、情報量の多い画像を提供するために、検査技術や画像処理技術だけでなく、読影能力も兼ね



救急撮影認定技師の和田大輔さん（左）と鈴木康章さん ▲

備えていなければなりません。

我々、救急撮影認定技師が率先して多職種のスタッフと連携をとり、よりの確で迅速なCT検査ができるようにワークフローを改善し、一刻を争う救急医療の場であっても安全・安心な検査ができるよう努めてまいります。

救急撮影認定技師 和田 大輔

◆ 医師異動のお知らせ ◆

【2月28日付退職】

整形外科 小早川 知範 医師
今までありがとうございました



【3月1日付採用】

腎臓内科 武藤 玲子 医師

よろしくお願いいたします

薬剤師・助産師・看護師・ 臨床検査技師を募集しています



申込締切 薬剤師 5月9日（水） 助産師・看護師・臨床検査技師 6月13日（水）

試験日 薬剤師 5月19日（土） 助産師・看護師・臨床検査技師 6月23日（土）

採用日 平成31年4月1日 経験者の方は応相談

詳細はホームページをご覧ください

2月の 診療実績

1日あたりの患者数		手術件数		375件
入院	491人	逆紹介率	119.7%	救命救急センター 受診者数
外来	1,312人	病床利用率	98.3%	
紹介率	82.3%	平均在院日数	10.7日	救急搬送件数
				533件



乳がん時代を乗り切る

外科部長 雄谷 慎吾 医師

このタイトルにはこだわりがあります。現在、インターネットをはじめとするメディアでは乳がんの情報があふれています。タイトルを『乳がんの話』なんてすると、そういう怖さを助長させるだけと思い冒頭のタイトルにしました。

がんは確かに怖いです。ほとんどの場合は、予測不可能で治療にも限界があります。しかし、必要以上に恐れることはありません。まずは敵を知ることから始めましょう。現在、がんは2人に1人がかかる時代です

が、中でも乳がん罹患率は女性の第1位です。しかし、治療成績は甲状腺がん、皮膚がんに次いで良好です。

その理由の一つは、触知できる部位であるため早期発見しやすいことです。そのため、月1回でいいので自己検診を行ってください。個人差はありますが、5～10mm程度のがんを十分早期で発見することができます。早期の乳がんは痛みを伴わないことが多く、触らなければ意外と気づかないのです。

また、積極的に乳がん検診を受けてください。マンモグラフィは、触知できない微小ながん（転移や再発の心配ない非浸潤がんなど）も見つけることができます。もちろん万能ではありません。特に日本人には乳腺濃度が高い『高濃度乳腺』が多く、マンモグラフィで異常が見つかりづらいのです。

そこで当院では本年3月から3Dマンモグラフィ『トモシンセシス』を導入しました。これにより、乳腺の重なりの中からがんを見つけることができ、また、*偽陽性を減らし精度の高い検診を受けることができます。

乳がん治療は手術だけでなく、化学療法、放射線療法などを組み合わせることが重要です。当院では私をはじめとする外科医、がん化学療法看護認定看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、病棟看護師などチーム一丸となって乳がんに取り組んでいます。中東遠地域の皆さまが安心して治療を受けられるよう、日々精進しておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

*偽陽性：病気がないのに誤って陽性と判定されること

看護のちから

乳がん患者さまの場合、がん治療の負担に加え、女性あるいは母親としての心配や悩み、喪失感などを抱える方も多くいらっしゃいます。私たち看護師は、女性の視点も大切にし、副作用のことなど患者さまの様々な不安を少しでも和らげ、納得し安心して治療を受けていただけるよう支援しています。いつでもお声かけください。

がん化学療法看護認定看護師 岡田 みどり 看護師



「がん相談支援センター」を開設しました

当院では、がんの治療や療養生活に関わる様々な不安や疑問に対応するために本年4月に「がん相談支援センター」を開設しました。

がんに関する病気のこと、治療や薬のこと、看護、栄養のことなど、専門スタッフが皆さまのお話を伺い問題解決へのお手伝いをさせていただきます。

患者さまやご家族だけでなく、どなたでもご利用いただけますので、ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

<ご利用方法>

受付時間：8：15～17：00（土・日・祝日を除く）

場 所：1階 がん相談支援センター ⑬番

相談方法：面談・電話

電話番号：0537-28-8159（直通）

※相談は無料です。

※相談時間は30分以内とさせていただきます。



■ 受付時間：午前7時45分～11時00分 ■ 診療時間：午前8時30分～
■ 緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

Table with columns: エリア, 診療科, 診察室, 月, 火, 水, 木, 金, お知らせ. Rows include departments like 整形外科, 消化器科, 循環器内科, etc.

* (初)：初診、(再)：再診、(予)：予約、(紹)：紹介 ※午後は予約のみ
□入院患者さんへの面会時間平日：午後1時～午後8時土、日、祝日：午前11時～午後8時

院内報「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。